

## (独) 農業環境技術研究所「双方向キャリア形成プログラム農環研モデル」

独立行政法人農業環境技術研究所（農環研）は、茨城県つくば市にあり、農業と環境に関する日本で唯一の公的研究機関として、人間の調和と共存を目指す高い水準の研究を維持し、世界の食糧問題と環境問題の克服に貢献することを基本理念に謳っています。

平成21年度から23年度まで、女性研究者支援モデル育成事業「双方向キャリア形成プログラム農環研モデル」を実施しました。この農環研モデルでは、「次世代や若手の育成」と「それに関わる研究者の指導力や総合的な研究力の向上」の“双方向”の女性研究者のキャリア形成促進を目指し、女子学生の裾野拡大から若手・中堅の女性研究者の家庭と仕事の両立とキャリア向上までの支援を実施しました。その結果、女性研究者の着実なキャリアアップが見られ、ワーク・ライフバランスに対する意識改革が図られ、所内に定着しつつあります。17%だった女性研究者割合は19%まで上昇しました。

プログラムが終了した現在は、事業実施期間とほぼ同等の支援メニューを所内独自予算で継続し、取り組みの制度化や実施体制の強化を通じて、支援のさらなる定着を図っています。女性研究者がワーク・ライフバランスを保ちつつ、競争的環境でも生き残ることが出来るようにキャリアアップを支援し、「2020年までに女性研究者割合30%以上とする」という最終目標に向けて、努力を続けています。

以下に現在継続中の具体的な取組内容を示します。

### I. キャリア形成・研究力向上のための支援

海外で開催される国際学会参加費の援助、英語論文を作成する際の英文校閲料金を支援する国際経験蓄積プログラム、海外の第一線で活躍する女性研究者をお招きしてワーク・ライフバランスについて講演して頂くロールモデル講演会、所内研究職員の有志が先輩研究者としてメンタリングを行うメンター制度などを実施しています。女性ポスドクや若手女性研究者の研究実践力の向上と、中堅女性研究者の指導力やメンターとしての資質の向上等の総合的な研究力の養成を図ります。

### II. 出産・育児・介護との両立支援

育児・介護などに関わる女性研究者の研究活動を補助するため支援研究員を雇用しています。また、カウンセラー（メンタルヘルス専門家）とライフイベントの専門家（助産院院長）それぞれによる相談窓口を設置しています。さらに、グループウェア上での情報窓口を運営して、両立に関する悩みや情報の共有化を図り、意識改革や制度見直しの提言を行っています。

### III. 次世代育成支援

女子学生の裾野拡大を図ると共に、女性研究者のサイエンスコミュニケーション能力を向上させるため、出前授業やサイエンスカフェなどのアウトリーチ活動を実施しています。

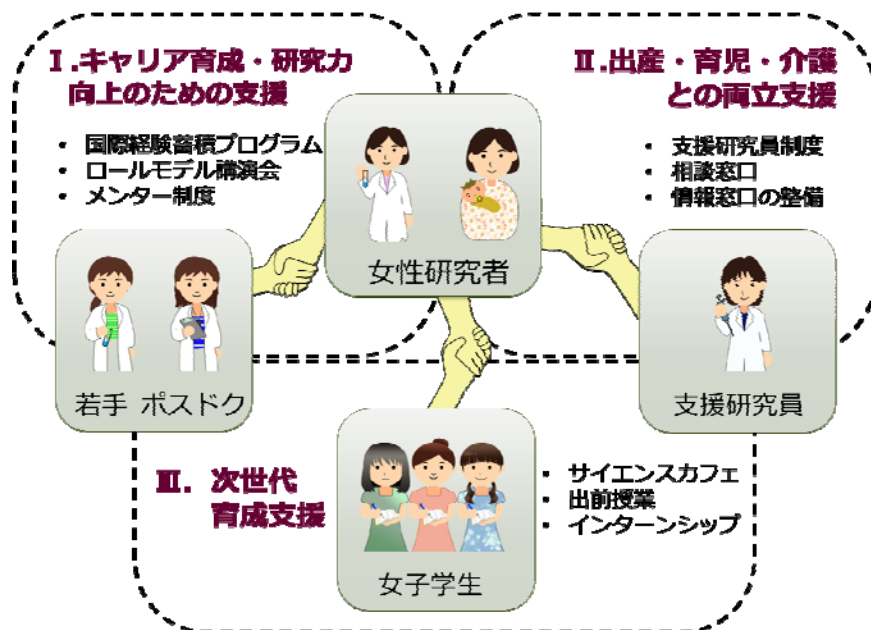


図. 双方向キャリア形成プログラム農環研モデルのイメージ、共に成長する！

【連絡先】 独立行政法人 農業環境技術研究所 企画戦略室 石塚 直樹  
TEL: 029-838-8183、FAX:029-838-8199 E-mail:danjo@niaes.affrc.ac.jp  
URL : <http://www.niaes.affrc.go.jp/>

